

大和高田市立病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	意志決定支援の質向上に向けた取り組み～アドバンス・ケア・プランニングに関する認知調査～ (R2-7)
当院の研究責任者 (所属)	槇本浩子 (2B 病棟)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の目的	A 病院地域包括ケア病棟の患者の年齢層は年々高まっており、健康問題に加えて患者・家族の想いをくみとった意志決定支援も求められる。今後、入院されているすべての患者および家族対象に意志決定支援カンファレンスを行うことも必要である。そこで、地域包括ケア病棟所属の看護師対象に ACP に関する認知度を把握するため ACP の勉強会を行い、その前後でアンケート調査を用いた実態調査を行うこととした。
調査データ 該当期間	令和 2 年 4 月 25 日～令和 2 年 10 月 30 日までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ol style="list-style-type: none"> ① 10 月末までにアンケートを 2 回実施。回収・集計・保管について直接研究に携わるメンバーで実施。アンケート項目は、木澤義之氏のアドバンス・ケア・プランニング～いのちの終わりについて話し合いを始める～の資料より抜粋。アンケート用紙は 2 回共に同じ内容とし、勉強会の理解度を把握するため勉強会前後の回答が同一看護師とわかるようにアンケート用紙に番号をつける。 ② 研究メンバーが地域包括ケア病棟看護師に ACP についての勉強会を実施。地域包括ケア病棟面談室に回収箱を設置し、回答したアンケート用紙はそこへ提出してもらう。 ③ 病棟看護師のレターボックスに研究メンバーが調査依頼文書とアンケート用紙を封筒に入れ配布する。 ④ 地域包括ケア病棟スタッフステーションで、業務負担が最小限になるように多忙な火曜日を避け、部分休業者が勤務中の 16 時までに実施する。 ⑤ アンケート内容は 15 分以内とし、項目は設問 19 問と自由記述式 2 問とする。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	担当者：槇本浩子
備考	